

議事概要

1. 日 時 令和7年3月10日（月）15時00分～16時30分
2. 場 所 札幌第1合同庁舎 2階講堂（札幌市北区北8条西2丁目）
3. 出席者

【委員長】

岸 邦宏 北海道大学大学院 教授

【委員】

有村 幹治 室蘭工業大学大学院 教授
加藤 眞奈美 北海道防災教育アドバイザー
加藤 由紀子 前北海商科大学 教授
久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭
島本 和明 日本医療大学 総長

4. 議 事

○令和7年度予算に向けた道路事業（直轄事業）の新規事業採択時評価について

- ・ 一般国道44号（北海道横断自動車道） 別保尾幌道路
- ・ 一般国道36号 白老西拡幅

【委員からの主な意見】

一般国道44号（北海道横断自動車道） 別保尾幌道路

- ・ 浜中町と厚岸町を高次医療施設のある釧路市に繋ぐ重要な道路。
- ・ 旅行者は、大規模災害時の避難ルートを想定しにくいいため、旅行者に対する避難ルートのアナウンスや、それに対する様々なルートがあることが重要。

一般国道36号 白老西拡幅

- ・ 救急搬送で使われる道路であり、対象区間で速度が低下しているため、2車線区間が残らないように、4車線化整備をすることが必要。
- ・ 観光期に大渋滞が発生しており、早期に4車線化整備をすることが必要。
- ・ 災害時に高規格道路と連携し復旧・復興の段階で寄与する道路であるため、4車線化整備は必要。

共通

- ・ 他の路線も含めて一般国道や高規格道路の4車線化により、規制速度を上げる検討をしていくべき。
- ・ リスク分析について、良い取組なので全ての事業でも実施するべき。
- ・ レンタカーを利用して旅行する、外国人や雪に慣れていない地域の観光客のためにも走行面において不安の無い道路が必要。
- ・ 時間信頼性向上は、特に観光で使われる道路において旅行のスケジュールが見えてくるため重要。

【委員長による総括】

- ・ 一般国道44号（北海道横断自動車道） 別保尾幌道路
- ・ 一般国道36号 白老西拡幅
の新規事業化については妥当である。

以 上